

| | | | |
|-----------|--------------|---------|-------|
| 開講科目名 | シリコンバレー型起業演習 | | |
| 担当教員 | 保田 隆明、内田 浩史 | 開講区分 | 単位数 |
| | | 第1クォーター | 2.0単位 |
| ナンバリングコード | B1BB303 | 曜日・時限 | 火2、火3 |
| | | 時間割コード | 1B376 |

授業のテーマ

シリコンバレー型ワークショップを行う。ワークショップ形式でビジネスプランの立案に必要な各スキル（デザイン思考、システム思考、ブレインストーミング、プレゼンスキルなど）を習得し、講義形式で収益分析や事業モデル、マーケティングの必要最低限の知識を学習する。最終的にはグループごとにビジネスプランの立案と発表を行い、最終発表は講師陣に加えてアクセラレーター（シリコンバレーに拠点を構える起業支援組織）のPlug and Playの評価を受けることができる。

授業の到達目標

アントレプレナーシップ（起業）に必要な経営学の諸知識（商品開発、市場分析、マーケティング、財務・収益分析など）を網羅的に、かつ、実践的に理解する。いい意味で「広く浅く」、経営学部生に加えて他学部生（経営学初学者）でも楽しく学べる形式を目指す。

授業の概要と計画

4/9 2限 イントダクション、アクセラレーターの取り組み
 3限 担当講師紹介、アイスブレイク、チーム分け+チーム毎テーマ決め
 4/16 2限 デザイン思考
 3限 デザイン思考（続き）
 4/23 2限 デザイン思考（続き）
 3限 デザイン思考（40分）、チーム毎テーマ発表（40分）
 5/7 2限 システム思考
 3限 システム思考（続き）
 5/14 2限 ビジネスプラン中間発表+講評
 3限 プレゼン術およびシリコンバレー概要
 5/21 2限 収益分析
 3限 グループワーク
 5/28 2限 チーム個別報告+講師フィードバック
 3限 チーム個別報告+講師フィードバック
 6/4 2限 ビジネスプラン最終発表・講評

なお、各回の内容はゲスト講師の予定などで入れ替わる可能性がある。

成績評価方法

指導教員4人が毎週グループワークの状況、各グループメンバーの参加度合いを確認する。また、グループメンバー間での相互評価（貢献度）をしてもらう。

成績評価基準

事前課題+事後課題（最終レポート）+演習への参加50%、中間発表20%、期末発表30%

履修上の注意（関連科目情報）

- ・やる気がある人は所属学部・バックグラウンドに関係なく歓迎します。
- ・事前の履修申込が必要です。定員30名（経営学部生15名、他学部生15名）とし、超える場合はそれぞれ選抜を行います（多少の調整は有）。
- ・選抜方法の詳細については経営学部ホームページで告知するので、必ずチェックしてください。
- ・演習形式のセミナーであるため、毎回の出席は必須です。また、事前登録された後での登録の変更、取りやめは認めません。
- ・頻繁にBEEFを確認してください。

【関連科目】デザイン思考、システム思考、アントレプレナーシップ、マーケティング、収益分析、資金調達、社会起業 等に関する様々な講義が関係します。

事前・事後学修

課題設定、解決策の提案のサイクルをぐるぐると繰り返すので、課外のグループワークに相当な時間が必要となります。

オフィスアワー・連絡先

講義前後に随時。

学生へのメッセージ

グループでチームワークを持って意欲的に参加することのできるセミナーです。授業外でもグループごとのワークが求められるため、バイトや部活等を理由にしてグループワークへの貢献が低く、他のメンバーに迷惑をかける場合は、履修途中でもドロップアウトしてもらいます。やる気のある学生はみな忙しく、特定のメンバーのみに特殊事情を理由として負担の軽減を許すことはありません。PCとネット環境さえあれば遠隔でもグループワークは可能な時代であり、実社会においてもむしろそのような働き方をする人、1人何役もこなす人が活躍しています。そうしたスキルも身に付けてもらいます。講師陣には社会人経験を有する教員と、外部ゲスト講師も複数名招聘しますので、ダイナミックな実践型な内容となります。

今年度の工夫

特になし

教科書

随時指定

参考書・参考資料等

随時指定

授業における使用言語

日本語

キーワード

アントレプレナーシップ、起業、デザイン思考、システム思考、プロトタイピング、ビジネスプランニング、企業経営、マーケティング、販売、資金調達、組織運営、社会人